

サポートチームだより

「部活動地域移行担当者ミーティング」開催 ～担当者一堂に集まる～

〈体験格差の解消を目指して〉

令和6年（2024年）5月13日（月）に十勝総合振興局 AB 会議室で、令和6年度「十勝管内部活動地域移行担当者ミーティング」が開催されました。市町村教育委員会担当者29名が参加し、実践発表、行政説明及び意見交換を行いました。会議冒頭で「十勝教育局部活動の地域移行に係るサポートチーム」リーダー（十勝教育局次長）の ただ ひろあき 多田 博昭 より参加者へあいさつ。「目指すところは、地域の実情に応じスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消すること」とし、「本年度も市町村への訪問や助言・各種情報提供を行うなど、各市町村の取り組みをサポートしてまいります」と述べました。

〈学校と地域の融合を〉

実践発表では、中札内村教育委員会部活動地域移行コーディネーター たかはし まこと 高橋 慎 さん（＝右写真）より「中札内村の取組を通して」と題し、これまでの中札内村での取組について説明をいただきました。高橋さんは、「学校と地域の融合」が大切であり、「学校教育・社会教育さらには地域住民が協働して取り組むことが重要」と述べられました。



発表する高橋さん

〈段階的に取組を〉

行政説明では、教育支援課主査 うどう まさや 有働 雅哉 より「十勝管内における部活動地域移行の現状とこれからについて」と題し、十勝管内の進捗状況と今年度の取組について説明を行いました。参加されている担当者に向けてイメージ図（＝別紙資料）を参考に、「段階的に今後の取組を進めていただきたい」と伝えました。

〈各町の担当者が意見交換〉

意見交換は、近隣市町村で4グループに分けて実施。各グループでテーマを設定して行われ、終了時刻が過ぎても話しが続いているほど熱心な討議となりました。各グループから出された意見としては、「近隣自治体間の連携が重要」、「土日や一部種目から移行を進めたい」とする意見もある一方で、「指導者・送迎手段の確保」や「保護者負担の対応」、「近隣自治体間の距離の問題」などに苦慮しているという意見もあり、今後の課題が明らかになりました。



熱心に意見交換する出席者

【発行・お問い合わせ先】
北海道教育庁十勝教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課 主査（地学協働）
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話：0155-26-9243
E-mail: udou.masaya@pref.hokkaido.lg.jp